

第 68 回全国里親大会兵庫大会／近畿地区里親研修会兵庫大会 開催要項

1. 大会テーマ 「いっしょに^{ある}歩こ 希望の架け橋 こどもの未来へ」

2. 開催趣旨：

子どもたち一人一人に寄り添い、そのことばに耳を傾け、いっしょに歩みを進めながら、子どもたちを未来へ送り出すことは、すべての里親の願いです。

コロナ禍のもと、子どもや子育て家庭を取り巻く環境にも大きな変化が見られ、時代の変容とともに、私たち里親にも変化が求められています。

こうした中、本年（令和 5 年）4 月に、“こどもまんなか社会”を目指す「こども家庭庁」が創設され、また、来年（令和 6 年 4 月）には改正児童福祉法のもと、社会的養育や里親制度においても、社会の変容を踏まえ、すべての子どもたちの健やかな成長・発達、そして自立を支えること、子どもの Well-being（※）の向上が求められています。

今から 60 余年前（昭和 37 年）、ここ兵庫（神戸）では、様々な事情から親と暮らせない子どもたちに里親を求める「愛の手運動」がスタートし、里親制度の発展に先導的な役割を果たしてきました。

全国から里親の皆さんや里親支援に関わる皆さんが一堂に会し、家庭養育と子どもたちの養育に関わる様々な課題を共有し、話し合うとともに、里親の皆さんの養育のあり方を考える機会にしたいと思います。

そして、新しい時代の到来を予感する令和 5 年度に、里親制度を広く全国に浸透させ、社会全体で子どもたちを支え、子どもたちを未来につなぐ社会的養育の一層の推進を期して、本大会を開催します。

※ 子どもの Well-being（ウェルビーイング）：「子どもが心安らぐ安定した生活環境を持ち、希望や夢への期待を持って生活できている状態＝子どもが健康で安定した生活を実現できている状態」をさす。

3. 主催

こども家庭庁、公益財団法人全国里親会、近畿地区里親連絡協議会、全国里親大会兵庫大会実行委員会（*）

（*）兵庫県里親会連合会、神戸市里親会、兵庫県、神戸市、明石市、公益社団法人家庭養護促進協会、社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会、兵庫県民生委員児童委員連合会、一般社団法人兵庫県児童養護連絡協議会、兵庫県乳児院連盟、その他里親関係機関

4. 後援（順次調整）

公益財団法人資生堂子ども財団、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、一般社団法人日本ファミリーホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、その他の関連団体等

5. 開催期日 令和5年10月28日(土)、29日(日)

6. 会場 神戸国際会議場

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目9番1

TEL: 078-302-5200 (代表) FAX: 078-302-6485

7. 参加者

全国の里親・里子、ファミリーホーム関係者、児童養護施設・乳児院・児童心理治療施設・児童自立支援施設・母子生活支援施設・自立援助ホーム・児童家庭支援センター等関係者、里親支援専門相談員、兵庫県・神戸市・明石市児童相談所等児童福祉行政関係者

8. 参加者予定数: 500名

9. スケジュール・内容

【第1日目】令和5年10月28日(土)

10:00~12:00	全国里親会 会長会議
-------------	---------------

	項目	テーマ・内容
12:30~13:30	受付	
13:30~14:15	開会式・表彰式	開会宣言 全国里親大会兵庫大会実行委員会委員長 阪本 芳道 開会式辞 公益財団法人全国里親会 会長 河内 美舟 あいさつ こども家庭庁 兵庫県知事 表彰式(全国里親会会長表彰・感謝状)
14:15~14:50	行政説明 (こども家庭庁)	
14:50~15:50	基調講演	テーマ「社会的養育の推進と里親制度・里親養育」 【講師】 山 縣 文 治 氏 関西大学教授・公益社団法人家庭養護促進協会理事長 2016(平成28)年以降、社会的養育の変革が急速に進んでいます。これは、里親制度や里親養育にどのような変化をもたらすのでしょうか。 歴史、社会状況、子どもの声などを踏まえつつ、真に子どもの育ちに資する、明日の里親実践のあり方を考えます。



15:50～16:00	休憩	
16:00～17:30	シンポジウム	<p>テーマ 「里親家庭で暮らす子どもの自立を考える」</p> <p>【コーディネーター】 藤林 武史氏 (西日本子ども研修センターあかし センター長)</p> <p>【パネラー】 山縣 文治氏 (関西大学教授、公益社団法人家庭養護促進協会理事長)</p> <p>畑山 麗衣氏 (NPO 法人 GivingTree ビアカウンセラー、ファミリーホーム補助員)</p> <p>里親 里親・養親家庭で育った方</p> <p>里親家庭や養親家庭の子どもが大人になる道のり。家庭を離れる、一人暮らしをする、友人をつくる、進学する、就職する、家庭を持つ、親になる、これらは、たやすくできることもあれば、難しい道のりの場合もあります。ある面では一人前だけれど、それ以外の部分はまだまだ子どもだったりします。心の準備ができている場合もあれば、準備に時間がかかる場合もあります。</p> <p>大人になることへの期待や不安、揺れうごく子どもの気持ちや声に耳を傾けてみましょう。子どもたち自身はどのようなことを求めているのでしょうか？子ども期からおとな期への移行を支えるためには、小さい頃からの養育の中で心がけておくことはあるのでしょうか？思春期以降はどのような関わりがよいのでしょうか？そして、移行を支えるのは、里親や養親だけでしょうか？他には、どのようなことが役立つのでしょうか？本シンポジウムでは、里親、里親・養親家庭で育った方の経験談を元に、考えたいと思います。</p>
17:30	1日目終了	
17:40～18:40	ユースの会	<p>「フォスターユースの会」の活動報告</p> <p>※冒頭 30 分に活動報告を行います。里親の皆様も、是非お聴きください。</p> <p>「フォスターユースの会」とは、里親家庭、ファミリーホーム、児童養護施設など社会的養護の元で育った当事者同士を繋ぎ、交流する中で親睦を深めたり、当事者が体験した悩みや問題を社会へ発信していくことを目的とした会です。</p> <p>「里親会」という会は、既に全国的に存在しており、皆さんにとって、とても助けとなっている里親さんも多くいると思われます。そのような集まりが里親・養親家庭で育った方にもあってもいいのではないか、という思いがあり、昨年度に「フォスターユースの会」を設立いたしました。</p> <p>昨年度は、8月に東京でユースの交流会、10月に全国里親大</p>


		<p>会山梨大会でユースの体験談を発表、12月に東京でJAFCA主催の分科会で里親さんと対談をしました。</p> <p>これからも、社会的養護の元で育った子どもたちの暮らしやすい社会を目指して、フォスターユースの会の活動を進めてまいります。</p>
--	--	--

【第2日目】令和5年10月29日（日）

	項目	テーマ・内容
9:00～9:30	受付	
開始 9:30 終了 11:00～ 11:30 (分科会によって 終了時間が異なります。)	第1分科会	<p>「里親活動の充実とその先にある新たな役割 ～「SS式イライラしない子育て法（CPA）」の紹介～」</p> <p>【講師】 杉江 健二氏</p> <p>(一般社団法人青少年養育支援センター陽氣会代表理事 NPO 法人あいち子育て支援プログラム研究会理事長 名古屋明誠高等学院学院長 養育里親（ファミリーホーム陽氣道場） 名古屋市里親会（NPO 法人こどもピース）理事)</p> <p>●内容概略： 近年、里親に委託されるケースに、被虐待経験、発達凸凹や愛着の問題など、複雑な背景を抱える児童の委託が増加しています。里親がそうした児童に対し、適切な養育を持続的に行うためには、その児童に対する愛情や養育への情熱といった「思い」だけではうまくいかないケースが増加しています。</p> <p>「SS式イライラしない子育て法（CPA）」は、長年、養育里親（ファミリーホーム）として活動してきた、里親の周辺で、日々繰り返される困難な養育現場から生まれた里親発の子育て法です。「わかりやすい」「すぐに実践できる」と大変好評で、近年、名古屋市において一般の親向けに開催される「イライラしない子育て講座」として、急速に普及しています。また、名古屋市の児童相談所における、虐待当事者である保護者への虐待再発防止事業の親支援プログラムとして、高い実績を挙げています。</p> <p>この分科会では、「SS式イライラしない子育て法（CPA）」の紹介を通じて、里親が養育の中で培った養育技術は里親養育に留まらず、親子関係の作り方に悩む多くの親支援に役立つものであることを示したい。加えて、今後、里親が地域社会における子育て支援の担い手として、さらには児童虐待防止活動の旗手として、大きな社会貢献を果たす可能性を持っていることを示したいと考えています。</p>
	第2分科会	<p>「アドボカシーって何ですか？」</p> <p>～ 生活の中で子どもの気持ちの表現を支えるために ～</p>

		<p>ファシリテーター：藤林 武史氏 (西日本こども研修センターあかし センター長)</p> <p>長瀬 正子氏 (佛教大学准教授)</p> <p>里親家庭に来る子どもは、それまでの生い立ちの環境の中で、自分の気持ちや意見を誰かに聞いてもらったり受け止められた経験が少なく、むしろ、無視されたり、放っておかれたりする経験を積み重ねるなかで、自分の気持ちを我慢したり、ないものとしてきたのではないのでしょうか。そのため、自分の気持ちを里親や周囲の人に、うまく伝えることができず、腹痛や頭痛などを含めた身体症状や、暴れたり暴言を吐いたり等不適切な行動として表現してしまうことがしばしば起こります。</p> <p>子どもが大人になっていくプロセスの中で、自分の気持ちを感じてよい、言葉や意見として人に伝えてもよいと実感でき、発信できることはその子どもの人生を切り拓くエネルギーの基盤となります。それは、子ども自身の生活や人生において、社会とのつながりを生み出していきます。気持ちを言葉にして伝えていくこと、それを手助けする「アドボカシー」は、里親をはじめとする周囲の大人の役割です。皆さんがすでになさっていることも多くあります。</p> <p>本分科会では、子どもの権利の基本に立ち返り、日々何気なく行なっている養育の中の、アドボカシーについて、振り返る機会にしたいと思います。また、里親以外が行うアドボカシーの意義についても、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>
第3分科会		<p>「つながるチーム養育 ～ 施設（里専）の役割 ～ 」</p> <p>パネラー：秋吉 一恵 氏 (兵庫県阪神南地区里親会 養育・縁組里親)</p> <p>藤田 由江 氏 (兵庫県明石地区里親会 週末里親)</p> <p>磯脇 千恵 氏 (明石乳児院 里親支援専門相談員)</p> <p>石田佳菜子 氏 (子供の家 里親支援専門相談員)</p> <p>大岸 英子 氏 (兵庫県尼崎こども家庭センター課長補佐)</p> <p>ファシリテーター：頓田 二郎 氏 (兵庫県中央こども家庭センター児童虐待防止対策専門員)</p> <p>子どものニーズの多様化に伴い、よりきめ細かな関わりが求められています。そのため、里親の養育力にのみ頼るのではなく、施設、児童相談所など、関係機関が一体となり、子どもを養育する他職種連携の「チーム養育」がますます重要となっています。</p> <p>この分科会では、兵庫県の里親支援専門相談員の活動を紹介するとともに、養育経験豊富な里親が現状と課題にふれつつ、</p>

		<p>これから求められるチーム養育のあり方についてディスカッションをします。</p> <p>この分科会に参加申込みされる方は、「チーム養育」について聞いてみたいこと・質問等は、QRコードから事前にお送りください。</p> <p>[受付期間：8月31日（木）まで] （時間に限りがあるため 回答できない場合もあります。）</p> 
	<p>第4分科会</p>	<p>『『明石で家族になる』 ～ ショートステイ里親になりませんか ～』</p> <p>登壇者：三谷 哲也 氏（兵庫県明石地区里親会 会長） 三谷 政美 氏（兵庫県明石地区里親会） 門脇 和美 氏（兵庫県明石地区里親会） 中川賢二郎 氏（兵庫県明石地区里親会） 獅々賀知穂 氏（兵庫県明石地区里親会） 動画出演 コーディネーター：谷 智貴 氏（兵庫県明石地区里親会 副会長）</p> <p>私たち明石地区里親会は、2019(平成31)年明石こどもセンターの開設と同時に兵庫県中央地区里親会から独立する形で発足して活動を開始しました。市内全小学校区での里親登録を目指す「あかし里親100%プロジェクト」では、関係機関と連携して毎月開催される里親相談会で体験談をお話ししています。</p> <p>この分科会では、私たちが行政と協力しながら、市の子育て支援事業であるショートステイを里親家庭で実施する体制づくりに取り組んできた経緯をお伝えすると共に、ショートステイの仕組みや里親の果たしている役割についてお話します。今ではショートステイを受け入れる里親も増えてきており、里親家庭が地域における子育て支援の拠点となりつつあります。</p> <p>実際にショートステイ里親として活動している体験談も交えながら、私たちのこれまでの取り組みを紹介し、広く皆さんに知っていただきたいと思えます。</p> <p>この分科会に参加申込みされる方は、聞いてみたいこと・質問等は、QRコードより事前にお送りください。</p> <p>[受付期間：8月31日（木）まで] （時間に限りがあるため回答できない場合もあります。）</p> 

	第5分科会	<p>「真実告知 ～告知のはじまりとその後～」</p> <p>登壇者：成人した養子 森 和子 氏（元文京学院大学教授（心理学博士）） 米沢 普子 氏（公益社団法人家庭養護促進協会 主任ケースワーカー） モデレーター：橋本 明 氏（公益社団法人家庭養護促進協会事務局長）</p> <p>「自分はなぜここにいるのか」「自分は一体誰なのか」等、アイデンティティについての問いかけは、人間の根源的なものであり、とりわけ養子たちにとっては、いつかは向き合わざるを得ない重要な課題の一つとなっています。</p> <p>この真実告知のあり様は、日本だけでなく欧米においても、それぞれの国の文化や伝統、家族関係等によって異なりますが、どの国においても、告知に関する養子や養親の不安や悩みには共通したものがあるようです。</p> <p>この分科会では、養子縁組の当事者、長年里親・養子縁組に関わっている研究者、里親や養親子関係を支援してきたソーシャルワーカーから、それぞれの経験や知見に基づく意見を出し合い、真実告知を通して家族や親子になることの意味について考えます。</p> <p>この分科会に参加申込みされる方は、真実告知について知りたいこと・質問等はQRコードから事前にお送りください。</p> <p>[受付期間：8月31日（木）まで] （時間に限りがあるため回答できない場合もあります。）</p> 
11:30～11:50	休憩・移動	
11:50～12:00	全体会 大会宣言 あいさつ 近畿地区里親連絡協議会 会長 梅原 啓次 氏 次期開催地あいさつ 福井県里親会 会長 福谷 光則 氏 一般社団法人滋賀県里親会 代表理事 佐藤 哲也 氏	
12:00	大会終了	

10. 子ども企画・託児

本大会の開催に併せて、次のとおり、子ども企画・託児を実施します。お子様と一緒にご参加される方で、参加希望の場合は、別紙申込書に記入の上、お申込みください。

		子ども企画	託児
対象児童		原則 6歳以上	原則 6歳未満児童
内 容	10月28日(土) 13:30~17:30 【受付時間】 12:30~13:20	<Aコース> バンドー神戸青少年科学館 (プラネリウム鑑賞あり) ※神戸国際会議場より、徒歩移動 <Bコース> 北野工房でのクラフト製作 (ステンドグラスフォトフレーム作り) 及び北野異人館散策 ※神戸国際会議場より、貸切バス移動	神戸国際会議場内 での託児
	10月29日(日) 9:30~12:30 【受付時間】 8:30~9:20	<共通コース> 神戸どうぶつ王国(動物園) ※神戸国際会議場より、ポーター移動	神戸国際会議場内 での託児

(注)会場内には、里親子が一緒に利用できる休憩スペースを設置します。

(ただし、このスペースにスタッフは常駐しておりませんので、監護者様のご判断のもとでご利用ください。)

11. お問い合わせ先

① 大会・研究会内容等に関する問合せ先

全国里親大会兵庫大会実行委員会事務局

(兵庫県中央こども家庭センター内) (担当：石原・前田・熟)

〒673-0021 兵庫県明石市北王子町13番5号

T E L : 078-923-9966 F A X : 078-924-0033

② 参加申込・宿泊等に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス(株)神戸支店(担当：田中)

〒650-0032 神戸市中央区伊藤町121 神戸伊藤町ビル2階

T E L : 078-321-5005 F A X : 078-321-5019

12. その他注意事項

- ・本大会におけるビデオ・カメラ、携帯電話等での許可なく撮影・録音することは固くお断りいたします。
- ・ただし、本大会における記録として事務局において、ビデオ・写真を撮影・録音させていただく場合があります。大会記録誌の作成以外の目的で使用はいたしませんので、ご了承ください。